

# たぐすい

TAKUSUI  
No. 645

7

July, 2010

発行 (財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



大輪田塾生が関空施設見学中にミズクラゲを発見、漁業への影響が心配される。(6月22日)

Report

## 3団体総会で役員改選 県域ビジョン策定作業始まる!

### 各団体の総会行事続く

- 但馬地区漁協女性部連合会
- 兵庫県漁青連及び兵庫県女性連
- (社)播磨漁友会
- 播磨地区漁協職員協議会
- 兵庫県機船底曳網漁業協会

## 平成22年3団体合同総会で役員改選

JF兵庫漁連、JF兵庫信漁連、JFぎょさい兵庫の3団体による平成22年合同総会が6月25日（金）に明石商工会議所で開催されました。

JF兵庫漁連は臨時総会、JF兵庫信漁連とJFぎょさい兵庫は通常総会で、3団体役員及び会員組合の組合長の他、井戸敏三兵庫県知事をはじめ県関係者、農林中金、系統団体代表者の来賓計約100名が出席しました。

提出された議案は3団体とも総て原案通り議決承認されました。また当日は任期満了に伴う役員改選も行われ、その結果は次の通りとなりました。



祝辞を述べられる井戸敏三兵庫県知事

	JF兵庫漁連	JF兵庫信漁連	JFぎょさい兵庫
代表理事会長（組合長理事）	山田 隆義	山田 峰人（新任）	上村 廣一（新任）
副会長理事（副組合長理事）	田沼 政男	眞野 豊	前田 若男（新任）
専務理事	山口 徹夫	里 昭彦（新任）	石原 満（新任）
理事	上村 廣一 中川 照央 豊田 修 社領 弘 小磯 富男（新任） 眞野 豊 川越 一男	山田 隆義（新任） 戎本 裕明（新任） 田沼 政男 上村 廣一 豊田 修 社領 弘 川越 一男	眞野 豊 田沼 政男 社領 弘 川越 一男 豊田 修 山田 隆義（新任） 石田 孝一（新任）
代表監事	小溝 政二（新任）	井上 仁	岡田 光司（新任）
常勤監事	笹倉 邦夫	宮崎 二郎（新任）	
監事	中村 利公（新任） 島田 正彦	東根 壽（新任） 石井 晋三	岸 利夫（新任） 島田 正彦

（敬称略）



### JF兵庫信漁連会長 就任の挨拶

兵庫県信用漁業協同組合連合会  
代表理事会長

山田 峰人 氏

この度、兵庫県信漁連の役員改選におきまして、代表理事会長職を拝命いたしました。

これまで専務理事として努めてまいりましたが、前任の秋武宏氏の後を受け、その責務の重さに身の引き締まる思いがいたします。

ご存知の通り、近年の漁業環境は多くの課題を抱えており、本会の進むべき道程は決して平坦ではありませんが、今こそ、与えられた機能を十分に発揮すべき時機と覚悟いたしております。

本会が健全性を確保し、適切な業務運営を行うことを通じて、貯金者保護を図り、組合員・利用者の金融ニーズに適切に対応することを目的とした「JFマリンバンク基本方針」に基づき、組合員と地域の皆様に親しまれ、信頼される浜の暮らしを守る金融機関として貢献してまいります。

今後は、役員職員一同、連携をとりながら、全力を挙げ連合会運営に精進、精励いたす所存でございますので、今後とも倍旧のご愛顧賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

平成22年6月吉日



### JFぎょさい兵庫組合長 就任の挨拶

兵庫県漁業共済組合  
組合長理事

上村 廣一 氏

この度、6月25日開催の通常総会において選任され、理事会の総意を得て組合長理事の大役を仰せつかることになりました。

前任の吉岡組合長が長年にわたり、粉骨砕身され、成長してきた共済組合をお引き受けするのは、身の引き締まる思いがいたします。

ご承知のとおり、漁業を取り巻く環境は、水産資源水準の低位停滞や改善の兆しが見えない魚価の低迷等、ますます厳しい状況となっております。そのような中、漁業共済事業は漁業再生産の阻害防止等、漁業経営の安定のために一段と重要性を増しております。「ぎょさい」制度の健全な発展及び積立ぶらすの普及拡大と、漁業経営安定の一助としてその役割を果たすべく、微力ながら役員職員一同一致協力して業務に精励いたす所存でございますので、今後とも皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

平成22年6月吉日

# 県域ビジョン策定に向け始動！！

足腰の強い漁業・漁家経営の構築とそれを支えるJFの経営改善の必達を究極の目的として、平成21年10月30日、JF全国代表者会議で期間を5年間とした新運動方針「JFグループ 組織・経営・事業戦略」が採択されました。

スケジュールに沿い、各JFで実施された将来シミュレーションの集計・分析が、5月26日の参事・事務長会議、6月7日の組合長会議において報告され、これをもとに平成23年4～5月の県域ビジョン策定に向けた推進への

取り組みが始まりました。

6月7日の組合長会議では「県域ビジョン策定委員会委員」「県域ビジョン策定委員会作業部会部員」が以下の通り決定され、7月以降、月1回のペースで部会が開催される予定です。

また、事務局のJF兵庫漁連指導部では、新たな動きがある都度「JFグループ兵庫 県域ビジョンだより」を発行し、各JF・系統団体に広報周知することとしています。

## 県域ビジョン策定委員会委員名簿

役職	氏名	所属	備考
委員長	山田 隆義	JF 兵庫漁連	
		兵庫県内海漁船保険組合	
		(財)兵庫県水産振興基金	
		摂津漁業協会	
副委員長	山田 峰人	JF 兵庫信漁連	
委員	上村 広一	JF ぎょさい兵庫	
委員	吉岡 修一	兵庫県 JF 共済推進本部	
		兵庫県漁業信用基金協会	
		但馬漁船保険組合	
		但馬地区漁業協議会	
委員	井上 仁	(公財) ひょうご豊かな海づくり協会	
		(社)播磨漁友会	
委員	前田 吉計	(社)淡路水交会	
委員	藤澤 崇夫	兵庫県農政環境部農林水産局水産課	
委員	井上 隆	JF 神戸市	摂津地区
委員	田沼 政男	JF 林崎	播磨地区
委員	中澤 卓生	JF 姫路市	
委員	豊田 修	JF 東由良町	淡路地区
委員	社領 弘	JF 一宮町	
委員	川越 一男	JF 浜坂町	但馬地区

## 県域ビジョン策定委員会作業部会部員名簿

役職	氏名	所属	備考
部員	河本 勝博	JF神戸市	摂津地区
部員	三浦 保昌	JF神戸市	
部員	前田 洋介	JF明石浦	播磨地区
部員	仲谷 宏	JF林崎	
部員	吉井友希夫	JF東二見	
部員	澤浦 博光	JF家島	
部員	森 光則	JF坊勢	
部員	倉田 昌彦	JF室津	
部員	平田 一典	JF赤穂市	
部員	福岡 光彦	JF津名	
部員	相田 晃男	JF仮屋	淡路地区
部員	西浜 伸明	JF育波浦	
部員	西内 久明	JF五色町	
部員	谷 喜美	JF南あわじ	
部員	田村 富弘	JF沼島	
部員	守山 京都	JF但馬	
部員	井筒 重美	JF浜坂町	但馬地区

## 通常総会で魚食普及活動の一層の展開を確認

但馬地区漁協女性部連合会

平成22年6月21日(月) JF但馬津居山支所にて、4会員39名と来賓12名出席のもと、但馬地区漁協女性部連合会通常総会が開催されました。植田会長の「円滑な業務遂行への感謝と今後も協力をお願いしたい」との挨拶のあと、来賓を代表して、但馬水産事務所真鍋専技より「今年度、新しく取り組まれる県いずみ会との魚食普及活動に期待し、次へと繋げていただきたい」、続いてJF但馬眞野副組合長からは「漁業だけでなく国の情勢が良くないが、少しでも魚価が上がるよう努力をお願いしたい」、また、JF兵庫信漁連山田専務からは「サッカー日本代表のように、一丸となって頑張っていたきたい」とそれぞれ挨拶がありました。その後、議事に入り、平成21年度事業報告、収支決算、同22年度事業計画・収支予算が承認され、総会は滞りなく終了しました。

総会の後、研修会に先立ち、北海道信漁連50周年記念DVD「温故知新」を見て、先人の不断の努力と信念とを改めて胸に刻みました。研修会では、東海大学海洋学部の関いずみ准教授より、「魚食普及のススメ-食育や地産地消を考える-」をテーマに、全国の女性部による実際の起業状況や各データの分析を交えながら、「全国の各女性部が、たくさん魚食普及活動を行っているにもかかわらず、活動自体の認知度が低いことを自覚すること。また、料理教室をす



通常総会議事の様子

ることだけでなく、漁村文化の継承、地元漁業への貢献や次世代を担う子供たちへの教育を目的とする必要がある。」との内容で講演がありました。女性部からは、料理教室の実施等には行政の協力がもっとほしいとの切実な意見が出ました。

続いて、神戸運輸監理部筒井宣利課長が「作業用救命胴衣の着用促進」をテーマに講演されました。大切な命を守るためには、作業中に救命胴衣を着るのはもちろんのこと、まず家庭でお母さん(妻)が元気でないと、お父さん(夫)にストレスがかかり事故の遠因になることや、胴衣着用の声かけや漁船の安全チェックなど、できることから始め継続することが大切であることを、講師先生と一緒に発声したり、身体を動かしながら楽しく学びました。

### 平成22年度

## 兵庫県漁青連・兵庫県女性連合同通常総会 兵庫県漁協青壮年女性交流大会 開催

6月26日(土)、サンピア明石にて「平成22年度兵庫県漁青連・兵庫県女性連合同通常総会」ならびに「兵庫県漁協青壮年女性部交流大会」が、県下各JFの青壮年部・女性部の代表や県・系統団体からのご来賓など約100名が出席され、盛大に開催されました。



合同総会の様子

まず、平成22年度合同通常総会では、県漁青連大角会長、県女性連森会長の挨拶のあと、来賓の県水産課藤澤課長、JF兵庫漁連山田会長、JF兵庫信漁連山田会長から祝辞が述べられました。議事は、JF神戸市井上会長の共通議長のもと滞りなく進行し、県漁青連、県女性連ともに全議案は原案どおり可決承認されました。

続いて行われた交流大会では、大会宣言の後、魚食普及や漁場環境保全対策を盛り込んだ「大会決議」が採択され、記念講演は全漁連資材課村上調査役により「JFシェルナースについて」と題して姫路地区での設置実績が紹介され、また神戸運輸監理部の筒井課長により「海難事故防止策について」と題してライフジャケット着用の重要性が講演されました。

## 少数精鋭で激動を乗り切ろう！ (社)播磨漁友会第35回通常総会開催

社団法人 播磨漁友会

社団法人播磨漁友会の第35回総通常会が、去る6月28日、会員、来賓等32名の出席のもと姫路市内で開催されました。

総会では冒頭、井上会長が「会員数が18に減り少し寂しいが、これも時流に乗って対処してきた結果で、少数精鋭で力を合わせ状況変化に対応出来る組織でありたい。」と挨拶されました。

議案審議はJF明石浦戎本組合長が議長となり、平成21年度事業報告及び収支決算報告など5議案が審議され、総て原案通り承認されました。

その第4号議案では役員改選が行われ、正副会長・代表監事は次の方々が就任されました。

会 長	井上 仁 (JF岩見)	(再任)
副 会 長	松本 力 (JF高砂)	(再任)
	中澤 卓生 (JF姫路市)	(新任)
代表監事	坂田 強志 (JF相生)	(再任)

(敬称略)

## 役員改選で更に結束を固めよう！

播磨地区漁協職員協議会



播磨地区漁協職員協議会の模様

6月29日(火)、播磨地区漁協職員協議会の平成21年度通常総会が、姫路キャッスルホテルにおいて代議員28名全員(委任状5名含む)が出席し開催されました。開会にあたり井上道郎会長(JF岩見)から「県域ビジョン策定では我々職員がたたき台を作っていく」との力強い挨拶があり、続いて来賓を代表し、姫路農林水産事務所鈴鹿忠夫主幹から「諸施策の推進には漁協執行体制の強化が重要」、JF兵庫漁連山口徹夫専務から「ビジョンづくりに斬新な発想をお願いします」、(社)播磨漁友会井上仁会長から「歴史認識を踏まえ職員が組合長を育ててほしい」などの祝辞が述べられました。

議事はJF室津魚田博文代議員が議長となり、1.平成21年度事業報告、貸借対照表、損益計算書ならびに剰余金処分案。2.平成22年度事業計画ならびに収支予算。3.平成22年度会費賦課額ならびに徴

収方法の3議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、理事7名、監事2名がいずれも再選、続いて、理事による会長、副会長の互選が行われ、結果は下記の通りとなりました。

仲谷新会長の下、播磨地区の漁協職員が結束を固め、県域ビジョンの策定をはじめ、漁協事業・活動の活性化に大いに活躍されますよう期待しております。

会 長	仲谷 宏 (JF林崎)	(新任)
副 会 長	竹中 稔 (JF明石浦)	(新任)
	岡田 満史生 (JF坊勢)	(再任)

(敬称略)

## 沖底54隻の経営安定に結束誓う 韓国漁船対策「課題山積にも粘り強く交渉を」 県機船底曳網漁業協会通常総会終わる

兵庫県機船底曳網漁業協会(吉岡修一会長)は7月1日、JF但馬会議室で通常総会を開き、平成21年度決算など5議案が審議され総て原案通り承認決定されました。また、総会に先立ち全国底曳網漁業連合会の永年勤続乗組員表彰があり、JF但馬(津居山支所)祥雲丸磯橋真吾氏をはじめ9名の方々に賞が贈られました。

同協会に所属する沖底漁船(大臣承認)は54隻で本年度漁獲高は約62.5億円(前年比89%)、但馬の漁業の2/3を占める主力漁業。総会には船主等代表者のほか、来賓に水産庁江口沿岸沖合課長補佐をはじめ、県・市町、中央・県団体から代表者が出席し盛会裡に行われました。

総会の後、同協会役員と全底連大倉会長、県系統団体専務等出席者との意見交換会が行われ、話題は「魚価安

と「高燃油価格」という当面の課題に、互いに知恵を出し合おうということで進められました。魚価向上は「デフレ経済が続くなか、人任せの販売でなく生産者自ら魚の魅力を直接消費者に届ける努力が必要な時代」とか、農業所得保障制度の漁業版は、「一定水準を超えた燃油価格は総て国の負担でやってもらうなど特別措置を要請していく」…など、結論は得ないが前向きな意見交換が行われました。



挨拶される吉岡会長

## 第88回 国際協同組合デー兵庫県記念大会を開催

農協、漁協、生協などの関係者約300人が集い、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)主催の第88回国際協同組合デー兵庫県記念大会が7月2日(金)姫路キャスパホールで開催され、協同組合運動の前進を誓い合いました。



兵庫JCC宣言を朗読するコープこうべ大谷敦子理事

第1部の記念式典では、兵庫県農業協同組合中央会石田会長が、「農畜産物の安定供給などで協同組合の役割はさらに強まる。各団体が連帯を深め、地域社会の発展に貢献してほしい。」と挨拶しました。続いて、来賓の兵庫県農政環境部谷口部長、姫路市石見市長から祝辞をいただいた後、「食の安全・安心」・「環境の保全」・「健全な暮らしの実現」を盛り込んだ兵庫JCC宣言が満場の拍手をもって採択されました。

引き続き第2部の記念講演では、「今日の環境問題と持続可能な地域づくり」と題したNPO法人こども環境活動支援協会小川雅由事務局長より講演が行われました。

## 第35回 兵庫県漁民物故者合同供養祭開催

6月11日(金)高野山大学松下講堂並びに慰霊塔前において「第35回 兵庫県漁民物故者合同供養祭」が、漁業関係者ら203名の参列のもと、厳かに執り行われました。

まず、JF兵庫漁連山口専務により開式が告げられた後、遺族代表の山田正孝さん(JF但馬)と赤坂奉子さん(JF洲本)によって、平成21年度に物故された153柱の芳名簿の奉納が行われました。その後、主催者代表としてJF兵庫漁連山田会長より「本県が全国有数の水産県として今日あるのは、ここに合祀されておられますご尊霊のご努力の賜物であり、在りし日の輝かしい業績に対し、改めまして深く敬意を表しますとともに、感謝とお礼を申し上げます。」と追悼のことが述べられました。続いて兵庫県知事(藤原水産局長代読)、JF全漁連会長(吉田常務理事代読)より来賓を代表して追悼の

ことばをいただきました。

その後、読経のながれる中、主催者、来賓、ご遺族、一般参列者の順に焼香が行われ、JF兵庫女性連森会長より御礼が述べられ、供養祭は、厳粛のうちに滞りなく終了しました。

これまでに合祀されたご尊霊は今回の153柱を含め併せて11、370柱となりました。心からご冥福をお祈りいたします。



追悼の言葉を述べる山田会長

▶ 供養祭の様子

## 「みのりの民話集100」完成

～JAみのり管内の民話を1冊に～

JAみのり広報誌に平成12年から連載が続く「みのりの民話」を1冊にまとめた「みのりの民話集100」が6月1日に完成し、A4版130ページフルカラーで5,000冊が発行されました。そのうち200冊は管内の学校と図書館に寄贈し、一般には定価2,000円のところ10周年記念価格500円で販売していくこととしています。

連載は、埋もれている地域の言い伝えを活字にして後世に残していこうと企画され、加東市在住の郷土研究者、吉田省三さんが執筆、美術教諭の吉田ひとみさんが絵を担当し、加東市、三木市、西脇市、多可町にまつわる民話を120回以上にわたって連載してきました。JAみのり10周年を機に100話までをまとめたうえ、「変わりゆく地名」「ゆかりの風景」「ロマンが薫るウォーキングコース」「いにしえへの道しるべ」のコラムで、民話に登場した石碑や寺院などを写真や地図入りで紹介し、史跡巡りができるようになっています。

吉田省三さんは、「多くの人に手にとってもらい、この地域の民話を語りついでいってほしい。また、遠方に嫁いだ娘さん、都会に就職した子どもさんには、懐かしいふるさとの香りを感じてほしい」と話しています。



JAみのり管内の民話100話を収録した「みのりの民話集100」

<http://www.ja-hyogo.or.jp/>

## コープこうべ 浅田組合長理事が「生活消費功労」を受賞

5月18日（火）、兵庫県公館で「兵庫県功労者表彰式」が行われ、コープこうべの浅田克己組合長理事（兵庫県生協連・会長理事）が「生活消費功労」部門で表彰されました。

2010年の県功労者の表彰は、自治、教育、環境、商工など20部門で236人が選ばれました。「生活消費功労」は、県民の消費生活への貢献を評価し、贈られる賞です。表彰式では、浅田組合長理事が当該分野を代表して井戸知事より表彰状を受け取りました。

浅田組合長理事は、「この賞は、コープこうべの140万人の組合員を代表して受賞したものと考えています。生活の安定と向上をめざして、組合員とともに進めてきた活動や事業が、消費生活の向上にお役立ちできていると認めていただき、大変光栄です。これを励みにして、これからも、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります」と受賞の喜びを語りました。



受賞者のみなさん



表彰式後のティーパーティーにて、井戸兵庫県知事（右）、清原兵庫県理事（左）、コープこうべ浅田組合長（兵庫県生協連会長）（中央）

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

## 「お詫び」

拓水No.644（平成22年6月号）の表紙写真で、製本時に開けるファイル用パンチ穴が、写っている方の顔面部分に開いてしまいました。読者の中には不快感を持たれた方もおられるかと思えます。今後このようなことのないよう、紙面構成に細心の注意を払うこととお約束して、ここにお詫びします。

# 旬に想う

写真と文  
遊方子

## 熱帯の果樹

◆パパイヤの種子を蒔いたら沢山芽生えた。元気の良い1本を鉢植えにしたのが、大きな葉を6枚つけて冬を迎えた。寒さに弱いと聞いて、鉢の全体をビニールで覆って簡易の霜避けとしたが寒気を防ぐには至らず、1枚・2枚と葉を落とし、2月の寒中に最後の1枚が枯れ落ちた。冷気に負けて完全にお手上げである。タネから育てるのが楽しみで、此れ迄に琵琶湖のキシヨウブを咲かせたし、ヒオウギも植物園で頂いたタネだった。キンカン、ナツミカン、グレープフルーツは食べたあとの種子を蒔いて現在も生育中である。熱帯の果樹は初めての取り組みだったがパパイヤは完敗に終わりそうだ。

◆沖縄へ行った時、宿でタンカンが茶の子だった。表皮に傷があって見た目は悪いが、袋が薄くタネが少なく果汁が多い。ボンカンとミカンを合わせたような、甘みと酸のバランスが実に良かった。シークワーシャーも独特な柑橘類で、絞った果汁に芭蕉布を1昼夜浸けると染み抜きになるという。シーが「酸」クワーシャー「食べさせる」という意だとか…。沖縄の基幹作物であるパイナップルは、酸性土壌でのみ栽培が可能で、産地は島の北部に限られるそうだ。其の辺りに、パインの試食できる店が多く果物好きには楽しいコースになる。

◆日本の輸入果実のビッグ5は、バナナ・グレープフルーツ・オレンジ・ライム・パイナップルである。最近、バナナの癌に

対する免疫力アップの効果が注目されている。アフリカ・コンゴ地方での呼び方が《バナナ》だったとか、人類が最初に栽培した植物ともいう。消化し易くタネが無いため、幼児も好んで食べるが、野生のバナナにはタネがあるそうだ。熱帯では生食より煮たり・揚げたりして利用する野菜で、発展途上国では外貨を稼ぐ大切な輸出品である。樹のように見えて大型の草本で、葉柄が鞘状に重なって偽茎を作り、果実をつけるのと枯れてしまう。真の茎は地下にありイモ状で、其処から芽を出す。

◆果物の魔王はドリアン・王はマンゴー、女王がマンゴスチンだという。三大美果は何れも熱帯果樹である。マンゴーはインドのアッサム地方が原産地、ブドウ・バナナ・オレンジ・リンゴに次いで生産量が多い果物だ。紀元前よりインド地方に広く分布しており、釈迦との関係からマンゴーを聖なる木と呼ぶそうだ。喜望峰を回るインド航路が発見されてヨーロッパへも伝わった。独特の香りを持つウルシ科の樹だから、日本のウルシ同様、敏感な人はカブレを起こす。食後1～2週間して症状の出る遅延型のため、ご用心のほどを…。



流れと踏み石(姫路好古園にて)

## 大輪田塾だより

### 平成22年度大輪田塾現地研修

6月の大輪田塾は22～23日の2日間、現地研修を行いました。今年は4期生2名、5期生3名が参加して泉佐野市の関西国際空港とJF泉佐野の青空市場、尼崎市のヤンマー(株)と伊丹市のJA兵庫六甲を訪問しました。

22日の関西国際空港では、着工時から続く藻場造成をはじめとした環境対策の現場見学と講義がありました。また、JF泉佐野では併設されている直販所の「青空市場」を見学し、その成り立ちと同JFの現状について学び、23日は、漁船等の小型船向けエンジン生産工場を見学し、その保守管理やヤンマー(株)が取り組む海洋環境製品について研修。JA兵庫六甲では直販所「スマイル阪神」の見学とその運営方法や同JAの直販所展開について研修しました。

JF泉佐野では、対応された役員が塾生と同年代、かつ同漁種ということもあり、水揚げや魚価にまで対話が進み、またヤンマー(株)では、日々のエンジン保守や同社独自の環境対策製品への活発な質疑応答など、充実した2日間となりました。



グラスボートにて藻場を確認 於：関西空港



漁船用15馬力エンジンの生産を見学 於：ヤンマー(株)

### 表紙の言葉



#### 「関西空港でミズクラゲ」

6月22日、大輪田塾生が現地研修で関西国際空港2期島を訪問。藻場見学の際、付近にミズクラゲが大量発生しているのを発見、これを撮影しました。